

セビージャ



www.spain.info



▲ スペイン広場

産業観光商務省
出版元: © Turespaña
作成: Lionbridge
NIPO: 086-18-012-3

無料頒布

このパンフレットの内容は細心の注意を払って作成されています。もし誤りがございましたら、改善のために brochures@tourspain.es までメールでお知らせくださいますようお願いいたします

表紙: サンタ・マリア・デ・ラ・セデ大聖堂。
写真: Jacek Sopotnicki/123rf.com
裏表紙: 写真: Lucas Viani/123rf.com

目次

| | |
|----------------|----|
| はじめに | 3 |
| 地区ごとにセビージャ体験 | 5 |
| 文化 | 12 |
| セビージャを味わう | 16 |
| セビージャの四季 | 18 |
| 子供と過ごすセビージャ | 20 |
| 街の隠れた名所 | 20 |
| セビージャの夜 | 24 |
| セビージャの観光ルート | 26 |
| セビージャ周辺の見どころは? | 27 |
| セビージャへのアクセス | 29 |
| セビージャ市内の移動 | 30 |

はじめに

セビージャは訪れる人にいつでもスペシャルな体験を用意しています。路地の散策、さわやかな笑顔、素晴らしい日の入りなど・・・。

アンダルシア州の州都、多くの絵葉書にもなっているセビージャへようこそ。三千年を超える歴史を誇るこの街で、混ざり合う文化を肌で感じてみるのはいかがでしょうかでしょう。

興味深いモニュメントや、トリアナやラ・マカレナなど、味わうほどに奥の深い人気の地区が見つかります。ユダヤ人街の通りに迷い込んでみたり、サンタ・クルス街を散策したり、または画家ムリーリョの人生を辿ってみるのも良いでしょう。立ち止まる街角ごとに異なる驚きがあります。

美術館、芸術センター、テーマパークなど、セビージャには数多くのレジャーの楽しみ方があります。中でも文化においては選択肢に事欠きません。国内外のアーティストグループが、ラ・カルトゥハ音楽堂やパレンケ音楽堂の舞台上に上がります。また、演劇や映画の良い作品にも触れることができます。お好きなプランを立てて、思う存分楽しみましょう。セビージャの人はおもてなし精神が豊かで、オープンな性格です。快適な滞在になることでしょう。

歴史地区のバルで、さまざまな美味しいタパスを食べ歩きましょう。セビージャの賑やかな日々の営みの息遣いは通りでこそ味わえるものです。大聖堂やヒラルダの塔など、街の象徴ともいえるモニュメントを眺めながら、人々で賑わうテラスでの食事の良いものです。



▲ ヒラルダの塔

セビージャ

セビージャのもう一つの魅力は、その**伝統的な祭り**です。**聖週間**や**春祭り**の熱気を肌で感じてみましょう。セビージャの地元文化や篤い信仰心に触れるにはぴったりにです。

市内の忙しさに疲れたら、周辺の自然豊かな場所で深呼吸してみましょう。ユネスコの世界遺産と生物圏保護区に指定されている**ドニャーナ国立公園**では、グアダルキビル川下流の湿地や、砂丘、そして保護地区などを目にできます。**ラ・シ**

エラ・ノルテ自然公園も、セビージャが誇る自然空間の一つです。トレッキングを楽しむのに最適です。

良い機会ですから、商店やショッピングセンター、市場のウインドーに並ぶ**工芸品**を購入してみてもいいでしょう。陶器や扇子、骨董品などが見つかります。

アンダルシアの州都としての美しさとその瞬く光は、訪れる人々を夢中にします。**彩り鮮やかな賑やかな魔法の街、それがセビージャなのです。**

▼ **ドニャーナ国立公園**
ウエルバ県



地区ごとに セビージャ体験

セビージャには非常に魅力的な地区があります。街の中心部にある**サンタ・クルス街**はその細い路地や宮殿、花の飾られた中庭でその名を知られていますし、グアダルキビル川の向こう岸に広がる**トリアナ地区**では、漁村の雰囲気、そしてフラメンコ文化を感じることができます。また、**ラ・マカレナ地区**は歴史が深く人気の地区です。



▲ セビージャのレアル・アルカサル

旧市街

セビージャの歴史地区の中心には、他にはない特別な魅力があります。通りを歩くと、ここでしか見られないモニュメント遺産を目にすることができますし、街の明るい雰囲気に訪れる人も笑顔になります。**大聖堂**を訪れて、その素晴らしいムデハル様式、ゴシック様式、ルネサンス様式、バロック様式、新古典様式の彫刻に目を見張りましょう。ここにはコロンブスの遺体が安置されています。大聖堂の見学を終えたら、**ヒラルダの塔**に上ってみましょう。大聖堂の鐘塔であ

るこの塔は、何世紀にもわたって世界一高い建造物でした。てっぺんからは街を見下ろす眺望が楽しめます。

そこから程近い場所には、王族と身分の高い人が宿泊していた**アルカサル**があります。オレンジの木や椰子の木が生え、噴水がある庭園の散歩は忘れ難い思い出になることでしょう。詳細情報及びチケットの予約は、Webを通じてどうぞ：

① www.alcazarsevilla.org/english-version



▲ スペイン広場

また、**スペイン広場**も外すことができません。**マリア・ルイサ公園**の中にある建造物の集合体をお見逃しなく。他では見られない個性的なこの広場は、有名な映画「アラビアのロレンス」(Lawrence de Arabia) や「Star Wars エピソード2/クローンの攻撃」の撮影場所として使用されました。1929年に開催されたイベロアメリカ博覧会のために建設されたこの広場は、半楕円形の形をしており、これは元スペインの領土だったアメリカ大陸に抱擁をしている様子を表わしています。さらに、アメリカ大陸がある方向の、グアダルキビル川に向かって開けています。

ユネスコの世界遺産にも認定されている**インディアス古文書館**には、スペイン帝国時代の多くの文書や地図が保管されています。**市庁舎**に立ち寄ってみましょ

う。アンダルシア地方のプラテレスコ様式の建造物の代表ともいえる建物です。その後、**教会**とセビージャでタパスをつまむのにおすすめの**サルバドール広場**をそぞろ歩いてみましょう。テラス席やタベルナ(食堂)では、冷たいビールやセビージャ名物の料理を、この地ならではの彩り豊かな光を楽しみながら堪能できます。

セビージャには歴史があり伝説を持つ宮殿が数多く残されており、セビージャ滞在を思い出深いものにしてくれることでしょう。**アルソビスパル宮殿**は、街の主要なアートギャラリーの一つとして、ムリーリョ、スルバランなどの作品を所蔵しています。1か月に2度の土曜しか開館せず、しかも入場客には制限があるので、訪問する際は時間に余裕をもって計画を立てることをおすすめします。

ラス・ドゥエニャス宮殿は、かつての貴族たちが住居として使用していた豪華な邸宅で、また、アントニオ・マチャードの生家でもあります。その美しい中庭、芸術作品、そしてここに住んだことのある著名人たちの足跡に驚かされることでしょう。セビージャのバロック様式において最高傑作の一つに数えられる正面玄関を持つサン・テルモ宮殿も外せません。

また、長い歴史を持つ教会もぜひ訪れておきたいところです。マグダレナ教会では、神聖な静寂に包まれた想いがすることでしょう。そこからほど近い所には、魅力的なサン・アンドレス教会があります。そのゴシックームデハル様式が特徴で、サン・アンドレス広場に面しています。

街の中心部の散策は、シエルペス通りなしには語れません。賑やかな歩行者専用道で、セビージャの住民も良く通う場所です。ショッピングやバル、レストラン巡りにはもってこいでしょう。人々で賑わう通りを進んで行くと、街の商業の中



地区ごとにセビージャ体験

▲ 大司教館

心地で待ち合わせ場所としても利用されるラ・カンパナ広場に出ます。

セビージャの誇るモード地区、アラメダ・デ・ヘルクレスでは時間に余裕をもってゆっくり散歩を楽しみましょう。歴史的な場所に、文化的イベント、そしてナイトライフの融合を一度に満喫できる場所です。生演奏を聴かせる数多くのバルや、エレクトロミュージックが聞けるスペースなどがあります。

▼ サン・テルモ宮殿



写真: josepizarro/123rf.com

サンタ・クルス街

街の中心に位置するサンタ・クルス街はその細い路地や、邸宅、家々の明るい色合いそして特別な魅力を持つ地区です。家々の中庭には花々が飾られ彩り鮮やかで、きっと魅了されることでしょう。

旧ユダヤ人街だった路地に迷い込んでみてください。この地区一帯は、涼しい空気が通るように、狭い路地で構成されています。ここには、アルカサルの城壁にくっつく形で立っている別荘の**バンデラスの中庭**があります。広場や街を象徴するスポットを覗いて回しましょう。例えば**デル・アグア路地**は、アルカサルと平行に走る通りです。日陰になったひっそりとした中庭には、夏の暑い時期に涼しさを演出する多くの植物が植えられています。

その近くには樹齢100年を超えるゴムの木がある有名な**ムリーリョの庭**や、アンダルシア地方の貴族の館の最高傑作とされる**ピラトス邸宅**があります。

ミゲル・デ・マニャラ宮殿も街を象徴する建造物です。1623年の建設から、貴族たちの住居として利用されてきました。また、**サンタ・マリア・ラ・ブランカ教会**は13世紀の旧シナゴグがあった場所に建てられており、2度の再建を経てなおオリジナルの建築構造を残しています。一度目の再建は14世紀、二度目は17世紀、セビージャを象徴するバロック様式の教会としてのものでした。



▲ サンタ・クルス街

スペイン最古のユダヤ人街であるサンタ・クルス街の散策も終わりに近づきました。セビージャにおけるユダヤ人街の歴史を辿るには、**セビージャ・ユダヤ人街研究センター**へ足を伸ばしましょう。博物館や展示会だけではなく、さまざまな言語でのガイドツアーも催行されています。

① 詳細情報は：

www.juderiadesevilla.es

この地区の魅力を十分に満喫しながら食事をするには、**マテオス・ガゴ通り**がおすすめです。人々で賑わうバルやタベルナ（食堂）がひしめき合い、素晴らしいヒラルダの塔の眺めを楽しむことができます。



ラ・マカレナ地区

歴史地区の北に位置するラ・マカレナ地区では、セビージャでも最も古くからある街並みがみられます。都会に位置する、独自のモニュメント、伝説、伝統を持つ村ともいえるでしょう。



▲ マカレナ教会と門

この地区では、アーチやセビージャで最も古い希望の聖母マカレナ信心会の本場でもあるマカレナ教会などを見学することができます。また、ジュリアス・シーザーの時代の城壁やコルドバ門もあります。これらは、防衛のために街の周囲を囲んでいたその一部分の名残です。

ラ・マカレナ地区の中心地、サン・ルイス通りには、バルや商店、雰囲気の良いレストランなどが点在しています。レストランではぜひセビージャの名物料理を試してみましょう。また、街で最古の教会の一つでゴシックームデハル様式のサンタ・マリナ教会や、火事や地震の被害にもかかわらず保存状態の良い14世紀の教区教会のサン・マルコス教



写真: Brian Kinney/123rf.com

▲ サン・マルコス教会

会など、建築の至宝ともいえる建造物も目にすることができます。バロック様式の最高傑作でもある豪華なドームがある**サン・ルイス・デ・ロス・フランセセス教会**にもぜひ足を伸ばしてみましょう。

アンダルシア議会本部がある**旧シンコ・ジャガス病院**も一見の価値があります。ルネサンス様式のファサードとその庭園をお見逃しなく。内部を見学する場合には事前予約が必要です。

トリアナ地区

漁村の雰囲気漂う昔ながらの地区のトリアナは、闘牛士やアーティストたちを多く生み出してきました。グアダルキビル川の対岸に位置するトリアナ地区には、独自のアイデンティティーがあり、工芸品やフラメンコに投影されています。

まずは、セビージャで最も古い橋で国の歴史記念物にも指定されている**イサベル2世橋**へ向かいましょう。さらに、**サン・ハシント通り**まで歩いていくと、ショッピングをしたり賑やかなテラス席でコーヒーを飲んだりできます。

トリアナ地区の象徴とも言える**ベティス通り**はグアダルキビル川と平行に走っており、トリアナらしさを感じられる場所です。ここでは毎年7月の終わりに**サンタ・アナの「ベラ」**という祭りが開催されます。地区が祭りのちょうちんで彩られ、聖母に捧げる文化アクティビティが企画されます。13世紀に建設された**サンタ・アナ教会**で行われていた聖体祭が起源ではないかと言われています。

また、トリアナ地区ではサン・ホルヘ城跡がみられる**インキシシオン路地**など、素晴らしい建造物も見ることができます。**パトロシニオ教会**では、セビージャの聖週間を代表する像、「エル・カチョーロ」を目にできます。



▲ イサベル2世橋

セビージャの伝統的な陶器を保存し普及に努めている博物館、**トリアナ陶器センター**を見学するのも良いでしょう。興味深い作品や、歴史のある竈を見ることができます。アンティジャノ・カンポス通りとアルファレリア通りの間では、陶工職人たちが働く商店兼アトリエが目にきます。

文化

セビージャの街は、多様な文明の流れ、そして芸術スタイルを見届けてきました。美術館・博物館、劇場、文化センターでこれらを自分の目で確かめてみるのはいかがでしょうかでしょう。



▲ セビージャ美術館

美術館・博物館

セビージャ歴史地区の趣のある小さな広場に、かつてラ・メルセ・カルサダ修道院だった**セビージャ美術館**が建っています。現在はスペインのバロック絵画の至宝とされる多数の作品を展示する美術館となっています。見事なタイルで覆われた外壁や壁、美しく装飾されたドーム

や天井など、典型的な修道院建築で造られたこの美術館には現在、16世紀～17世紀にかけてのスペイン芸術を代表する画家、**スルバラン**、**バルデス・リアル**、そして**ムリーリョ**の作品が収められています。

マリア・ルイサ公園内部には**美術・民俗博物館**があります。その豊かな民俗学的多様性を広める目的で1972年に建設されたこの博物館には、昔使われていた物や道具が展示されています。正面のアメリカ広場には、古代文明の足跡を鮮明に感じることのできる展示が特徴の**セビージャ考古学博物館**があります。イタリカ遺跡群やアンダルシア全域で発見されたローマ帝国時代の痕跡や、21のタルテシコ起源の黄金の彫刻財宝、カランボロの財宝などを目にすることができます。

セビージャのエンカルナシオン広場には、ドイツの建築家ユルゲン・メイヤーによる「**セビージャのキノコ**」（または**メトロポール・パラソル**）があります。これは世界最大の木造オブジェで、4階建て構造になって下り、中には**アンティークアリウム**（セビージャにおけるローマ帝国時代の遺跡）や、オークション市場、さまざまなイベント事が企画される高



架広場などがあり、6つのカサが建物を覆っています。また、展望台からは、街を見渡す素晴らしい眺めを楽しむことができます。

① 詳細は：
setasdesevilla.com

▼ メトロポール・パラソル



セビージャ



▲ ビエナル・デ・フラメンコ



写真:セビリーヤ観光局

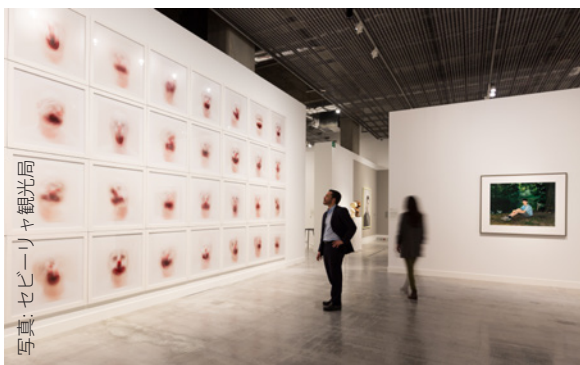
▲ カイシャ・フォーラム

文化センター

セビージャの栄光ある文化の中心地は**サンタ・クララ文化センター**です。美しいサンタ・クララ修道院の中にあるこのセンターは、重要な文化芸術の催し物が行われるだけでなく、**ビエンナーレ・フラメンコ・フェスティバル**の本拠地ともなっています。

建築がお好きですか？現代的なデザインが象徴的な文化センター、**カイシャ・フォーラム**へ立ち寄ってみましょう。誰でも参加できる幅広い文化、芸術、教育イベントが開催されています。

ムリーリョと家族が最後から2番目の邸宅として使用していた**ムリーリョの家**に立ち寄ってみましょう。彼の人生の歩みと、最も代表的な作品のいくつかを間近に目にすることができます。17世紀に活躍した彼の足跡をセビージャの街中に辿るガイド付きツアーの出発点として最適です。



▲ カイシャ・フォーラム

ラ・カルトゥハ修道院では、**アンダルシア現代美術センター**をお見逃しなく。20世紀後半から現在までをカバーする幅広いコレクションにより、スペイン芸術の潮流を感じることができます。重要な考古学的遺産としての価値があるラ・カルトゥハ修道院を十分堪能しましょう。

① 詳細情報は：

www.murilloysevilla.org

www.caac.es

劇場と文化スペース

さまざまな劇場で行われる舞台芸術もまた、セビージャの文化イベントを彩ります。まずは**マエストランサ劇場**から始めましょう。オペラやミュージカルが上演されるこの円形劇場は、南ヨーロッパのオペラの中心地として機能しています。

次は**ロペ・デ・ベガ劇場**へ向かいましょう。舞台芸術、フラメンコ、ジャズなど幅広いプログラムが魅力です。また、ここでは、毎年3月にスペインでも有数の**古典音楽祭**が開催されます。

大胆な芸術体験を求める方には、セビージャの中心街に位置する**キンテロ劇場**がおすすめです。カンファレンス、文化的イベントや展示会などと共に、さまざまな催し物が開催される刺激的な文化空間となっています。

また、**ラ・フンダシオン**も、すべての観客向けに幅広いプログラムが企画されており、一見の価値があります。

カルトゥハ修道院



セビージャを 味わう

歴史地区や市内のさまざまな地区のバルやテラス、レストランでタパスをつまみながら、アンダルシア州の州都、セビージャ料理を堪能しましょう。バラエティー豊かな品数に圧倒されるはずです。

▶ ガスパチョ



伝統料理

スペイン料理界の至宝ともいえるタパスを楽しむには、スペインでもセビージャが一押しです。また、バルへ足を運ぶことで、セビージャの人々のおもてなし精神や雰囲気を知ることができます。歴史地区やトリアナ地区、ラ・マカレナ地区に多くのバルが集まっています。

代表的なメニューは**チャシナ**（イベリコ豚の生ハム、豚肉のソーセージ風）や、「**パパス・アリニャス**」（味付きポテト料理）、**魚のフリット**などです。暑い時期にセビージャへ行くなら、ぜひさわやかな味わいの**ガスパチョ**（トマトの冷製スープ）を注文するのを忘れなく。

他にも人気のあるメニューはありますが、何はともあれ**モンタディート**（トーストしたパンの間に色々な具材を挟むミニ・ボカディージョ）です。セビージャのバルなら、ほぼすべての場所でメニューに書かれています。具材はバ

ラエティーに富んでおり、サーロイン、海老、最も一般的な生ハム、豚の背肉のビフテキ、ピーマンの揚げ物と生ハムなど、選ぶのに苦労します。

ワイナリーやタベルナ（食堂）でセビージャの本場の味を満喫し、樽から注ぎたてのワインを楽しみましょう。最も有名なのは「フィノ」と「マンサニージャ」、食前酒に最適です。多くは歴史地区にあり、非常に古くからの建物を利用しています。ドン・キホーテ（*El Quijote*）作者のミゲル・デ・セルバンテスは常連だったと言われています。

革新的な 料理

セビージャでは、最先端の料理を楽しむこともできます。手の込んだプレゼンテーションと驚くべき味わいを提供してくれる革新的なレストランで、郷土料理



の趣を残した最先端の料理を堪能してください。ミシュランの星を獲得しているレストラン**アバンタル**などがおすすめです。

セビージャの住民に人気なのが市場での食べ歩きです。トリアナ地区と街の中心部を結ぶ橋のたもとにある**トリアナ市場**では、新鮮な牡蠣から美味しい寿司まで楽しむことができます。ラ・マエストランサ広場の近くにある**バランコ市場**もおすすめです。セビージャの市場の中で一番現代的なこの市場には、郷土料理や、美味しい革新的料理を提供するバルが軒を連ねます。

トリアナ橋を渡って、**アレナル市場**に迷い込んでみましょう。エコなアンダルシアの食材をベースとした郷土料理を提供する店から、クリエイティブな料理でベジタンにも対応できる店まで見つける



▲ バランコ市場

ことができます。また、ワインの試飲コースに参加することもできます。

① 詳細情報は：

www.mercadolonjadelbarranco.es

セビージャの 四季

セビージャはどの季節に訪れても楽しむことができる街です。タパスをつまみに出かけたり、フラメンコを生で観たり、グアダルキビル川を下ったり、また、聖週間の魔法がかかった時間を体験しにくるのも一興です。



▲ サンタ・クルス街

夏

夏のセビージャと言えば、太陽とその暑さです。その分、古い歴史を感じさせる通りの**夜の散歩**を満喫したり、たくさんあるテラス席にすわってビールやガスパチョで涼をとったりして楽しむことができます。夜になると、**セビージャのアルカサル**では星空の下生演奏を楽しめるプログラムが企画されます。映画好きなら、**マリア・ル**

イサ公園での夏の映画会を覗いてみましょう。

日差しがきつい時間帯には、車で一時間強で行ける**ウエルバやカディスのビーチ**で、大西洋の水浴びを楽しむのも良いものです。

秋

10月下旬になると**ダンス月間**の始まりです。劇場や通り、街中で行われる舞台を通じて、いつもとは違ったセビージャの街を感じることができます。

二年に一度セビージャで行われる唯一無二のイベントで、フラメンコの世界に魅了されてください：**ビエナル・デ・フラメンコ**です。非常にスペインらしい、フラメンコに関する最大の国際イベントで、ユネスコの無形文化遺産に認定されています。

9月に開催されることが多く、街中のさまざまな会場で行われます。ドゥエンデ（フラメンコの歌や踊りの魔力的な言葉にしがたい魅力）の意味するところを、アルカサル、マエストランサ劇場の舞台、トリアナ・ホテルの中庭（伝統的な中庭形式）や魅力的なサン・ルイス・デ・ロス・フランセセス教会などの特別な場所で観ることができるでしょう。

冬

12月半ばには、**セビージャ舞台芸術祭**が開催されます。さまざまな会場で行われる**音楽、演劇、ダンス**などのショーが街中を文化の祭りの渦へと巻き込みます。

スポーツがお好きですか？セビージャの人々に人気のスポーツ、**カヌー競技**にチャレンジしてみませんか？グアダルキビル川ではいつでもこの競技に興じる人の姿が見受けられます。また、英語の**ガイド付きカヤックツアー**もあります。川から黄金の塔、マエストランサ劇場、ラ・カルトゥウハ修道院を眺めましょう。

春

春のセビージャには、豪華、情熱、神秘という言葉がぴったりです。**聖週間**で密度の濃い体験を。この日のために装飾を施された宗教聖像が厳粛な音楽に合わせて通りを練り歩きます。行列を追いかけるように、人々がその献身の証として歌うサエタというフラメンコのア・カペラの音楽が響きわたります。中でも人々が待ち焦がれる宗教行列は、木曜日から聖金曜日にかけての夜に行われる、キリストの受難を回顧するマドゥルガと呼ばれる行列です。

また、この時期は**春祭り**も見逃せません。祭り中の祭りともいえるこの祭りは、見本市会場の25万個の電球が一斉に点灯する「点灯式」の夜と共に始まります。歌ったり踊ったり、祭り小屋で魚のフリットに舌鼓を打ったりして楽しみましょう。フラメンコのカラフ



▲ 春祭り
セビージャ

ルな衣装を眺め、切り士がカットしたばかりのイベリコ豚の生ハムをお楽しみください。また、フラメンコの民謡や踊りの一種であるセビジャーナスの振り付けを習うのも良いでしょう。セビジャーナスの音楽は、春祭りには欠かせないものとなっています。祭りの日は、グアダルキビル川にあがる盛大な花火ショーと共に幕を閉じます。

聖週間と春祭りは、ユネスコにより世界観光財産祭りに指定されています。



子供と過ごす セビージャ

お子様でも楽しめる街、それがセビージャです。劇場や美術館・博物館を訪れたり、グアダルキビル川沿いを散歩したり、自然豊かな場所へ遠足へ出かけたり、テーマパークに行ったりと、家族で楽しめるプランがたくさんあります。

例えば、テーマパークの**イスラ・マヒカ**などは、お子様も楽しめるセビージャの主な見どころの一つです。大きさも収容人数もさまざまなアトラクションがありますが、中でも驚かされるのは、高さ32mのジェットコースターです。

セビージャ水族館も小さなお子様連れで訪れるのに最適です。最大深さ9mの水槽の中に、サメや多くの魚、亀や爬虫類に至るまで、数多くの種類の水中動植物相を見ることができます。

海から今度は空へと目を向けましょう。**カサ・デ・シエンシア（科学館）**には、展示や科学に関連したアクティビティ、そして素晴らしいプラネタリウムがあります。

① 詳細情報は：

www.islamagica.es

www.acuariosevillla.es

www.casadelaciencia.csic.es

街の 隠れた名所

時間に余裕があり、セビージャの興味深い街角やその他の地域、知る人ぞ知る隠れた名所などを知りたいければ、さまざまな選択肢が用意されています。

公園と庭園

ブアイラ庭園は、セビージャのアラブ文化の最盛期へと訪れる人々を連れて行ってくれます。オリーブの木、椰子の木、葡萄畑、果樹の間を散歩しながら、旧宮殿跡を見学しましょう。現在は市民センターとして、夏の間演劇やオペラの舞台が行われています。

また、サンタ・クルス地区の**ドーニャ・エルビラ広場**で、オレンジの木影を落とすタイル貼りのベンチに座って休憩するのも一興です。賑わうテラス席でドリンクを頼んでほっと一息ついたり、中央にある噴水を眺めてリラックスしたりしましょう。

知る人ぞ知る 博物館・美術館

セビージャにある博物館・美術館の数の多さからも、セビージャの文化的遺産は偉大なものだということが見て取れます。中には、**サン・ホルヘ城博物館**のように、その名は知られていないけれど非常に興味深い展示を持つものもあります。彫刻家エドゥアルド・チリーダの**寛容へのモニュメント**（monumento a la Tolerancia）の正面には、**審問裁判所**が宗教的、社会的、文化的に抑圧してきた史実を考証するセンターがあります。

カルトゥハ島では、何はともあれ**航海パビリオン**をお見逃しなく。歴史地区のほ



▲ 航海パビリオン

▼ セビージャタワー

ど近く、グアダルキビル川の川岸にあり、セビージャがスペインのアメリカ発見とその植民地化の港として機能した様が見て取れます。

また、**ムデハル美術館**もおすすめです。イスラム美術とスペイン美術の融合から生まれたムデハル芸術について非常に教育的な観点から展示を行っています。

セビージャの眺望

セビージャには見晴らしの良い眺望を楽しめる展望台がいくつかあります。セビージャ最初の高層ビルで、180mというアンダルシア最大の高さを誇る**セビージャタワー**へ立ち寄ってみましょう。または、グアダルキビル川の上にそびえ立つ**シンドラータワー**もおすすめです。言葉を失うような素晴らしい眺望が眼下に広がります。



写真: セビージャ観光局

セビージャ

旧鋳造所のペルディゴネスタワーは、セビージャに残された数少ない工業遺産の一つです。中には展望台と、このアンダルシアの大都会の生き活きとしたイメージを普段とは違う方法で味わうことができる、世界でも数少ない暗室があります。

大聖堂の屋根からは、いつもとは異なる高さから見下ろすセビージャならではの眺望を楽しむことができます。屋根に上るには、裏道から入り螺旋階段を上っていきます。ウェブからガイド付きツアーを申し込むこともできますし、窓口で直接入場券を買うこともできます。

ヒラルダの塔を望む テラス

セビージャで最高の見晴らしを誇るテラス席で、景観を楽しみ五感を刺激しましょう。歴史地区の中心部やトリアナ地区には、さまざまな建物の屋上にテラス席が設けられており、セビージャに広がる空の下でアンダルシア料理やショー、生演奏を楽しむことができます。その雰囲気酔いしれ、忘れ難い街の景観を目に焼き付けて、グアダルキビル川に沈んでゆく夕日を眺めましょう。

▼ ヒラルダの塔を望むテラス





セビージャの夜

ナイトライフを楽しむなら、訪れる人の望みはセビージャがすべて叶えます。ロックがかかるバルに、エレクトロミュージック専門店、洗練された雰囲気のレストランにジャズクラブなど……。それぞれの地区ごとに異なった雰囲気が味わえるのが魅力です。セビージャの夜の魅力を思う存分満喫しましょう。



バルとテラス席

ナイトライフを楽しむセビージャの住民がよく出かけるのは、歴史地区です。多くのホテルがカクテルを提供する雰囲気の良いテラス席を用意しています。**サルバドール広場**へ向かいましょう。楽しめる店がたくさんあります。

オルタナティブな雰囲気がお好きであれば、**アラメダ・デ・エルクレス**は外せません。ほぼすべての店が広場にテラス席

を設けていますので、野外の空気を吸いながら一杯飲むには最適です。さらに生演奏が好きなら、どのような好みにも対応したコンサートでなおさら楽しい夜を過ごすことができることでしょう。

エル・アレナルにも、ナイトライフを楽しむためのカクテルバーやディスコが集まっており、賑やかな夜の雰囲気を満喫できます。闘牛場広場の周辺エリアで

は、建物の屋上に設けられたテラス席から、周囲の美しい眺めを楽しむことができます。**アルフェ通り**には、友人たちと楽しい夜を過ごせるディスコやクラブが数多くあります。

川を渡ってトリアナ地区へ向かいましょう。ここでのナイトライフの中心は**ベティス通り**と、グアダルキビル川沿いに設けられたテラス席です。黄金の塔な

ど、眼前に広がる美しい夜景を満喫してください。フラメンコのスペシャリストたちによるショーに参加して、その場の雰囲気酔いしれましょう。

河川沿いの散歩道になっている**ニューヨーク埠頭**は、夏の夜に訪れるにはもってこいです。フルーツカクテルを飲みながら、ハンモックにのんびり寝そべったりする体験ができます。

▼ ドーニャ・マリアホテルのテラス



セビージャの 観光ルート

セビージャ散策は、街を象徴する
場所を巡るのが最適です。

サンタ・クルス街とラ・アルファルサ地区のローマ帝国時代の文明の足跡を辿るなら、**ローマ帝国ルート**です。戦争の神マーズを祀った神殿の一部だった**ヘラクレスとカエサル**の柱は見逃せません。**カルモナの送水管**は、ローマ帝国時代の水道橋の跡地で、かつては400のアーチから形成されていました。何度も再建を繰り返し、何世紀にもわたり街の飲料水の主要な供給口として機能してきた場所です。何キロメートルにも及ぶ巨大な技術作品のうち、現在その姿を留めているのは、ルイス・モントト通りに3つ部分的に残されているもののみです。

同年代に建設されたものとして、ジュリアス・シーザーの時代に防衛を目的として建てられた**城壁**があります。この城壁は、近くに寄って観察することができます。

また、約6kmにわたる**セルバンテスルート**では、ミゲル・デ・セルバンテスの文学の舞台となった場所を見学することもできます。このルートでは、グスタボ・アドルフォ・ベッケルや27年世代の詩人たちに影響を与えた場所も訪れます。

セビージャという街は、多くの歴史と神秘を秘めた所です。可憐なスソナ伝説ルートや、ムエルテ通り（死の通り）のガイコツのタイルなどを、**伝説ルート**を通じて辿ってみませんか？



▲ サンタ・マリア・ラ・ブランカ教会
セビージャ

また、セビージャの大聖堂のオレンジの中庭にどうしてワニがいるのか不思議に思ったことは？さあ、答えは自分の足で見つけに行きましょう。

セビージャに根付くアラブ文化に浸ってみるのも良いでしょう。かつてセビージャは、5世紀にもわたってイスビリヤと呼ばれるイスラム教徒の街だったので、**イスラム教徒の遺した遺産ルート**では、メスキータ、宮殿、アラブ浴場などを訪問します。自分なりのルートを作り上げ、当時に想いを馳せてみましょう。

セビージャ周辺の見どころは？

もし時間に余裕があれば、セビージャ周辺を散策してみませんか？例えば、歴史あるモニュメント都市**カルモナ**は、農業の盛んな美食の街です。

セビージャからコルドバ県に向かう道中の半ば、セビージャ郊外に広がる平原、ヘニル川沿いに佇むのが、美しい**エシハ**です。この街はスペインの馬の繁殖地としてその名を馳せています。馬や馬車に乗って街を一回りすることもできますし、乗馬のクラスを受けることもできます。

オスナの見事な美しさを堪能しましょう。千年を超える歴史を抱えるこの街で見逃せないのは、オリーブ畑と、その素晴らしい景観と共に育まれてきた歴史的、芸術的、文化的遺産です。ヨーロッパでも最も美しい通りの一つとされているサン・ペドロ通りへ足を運びましょう。荘厳な宮殿や邸宅が立ち並ぶ芸術的な通りです。



カルモナ



写真: philipus/123rf.com

▲ イタリカ遺跡群
サンティボンセ

セビージャはまた、海と山
に向かって開けた土地でも
あるので、多くの注目すべ
き自然環境に恵まれている
のです。

また、マルチェナもその素晴らしいモニュメント群でその名を知られています。中でも、サン・フアン・パウティスタ教会とアルコ・デ・ラ・ロサは見逃せません。聖週間期間中に訪れるのも良いでしょう。また、アンダルシアのフラメンコ文化が根付く重要な街としても訪れる価値があります。

アンダルシア州のローマ帝国時代を良く知りたければ、サンティボンセにあるイタリカ考古学遺跡群をおすすめします。円形劇場やアドリアノ地区を散策し、その美しいモザイクや彫刻に見入ってみましょう。

アスナルカサルのグアディアマル緑の回廊に行くロシオルートを歩いてみません

か？車輪のついた小さな移動式家でこの路を行く体験は、忘れ難いものになるはずです。

また、アバホ牧草地でバードウォッチングに興じたり、ミニマ島やマヨール島の水田地帯を進んでいくこともできます。ここはヨーロッパでも有数の米の生産地で、他では見ることのできない景観を楽しむことができます。

地理に興味があれば、クライミングに最適なカルスト地形のセロ・デ・イエロ自然モニュメントをおすすめします。

セビージャへのアクセス

AVE

セビージャ〜マドリード間を結ぶ高速鉄道AVEが日に約20便運行されています。また、AVEやスペイン国鉄（RENFE）により、アンダルシア州の他の都市ともつながっています。サンタ・フスタ駅は旧市街のすぐ近くです。

空港

空港は街の中心から10km北にあり、ロンドンやパリ、ローマなど多くのヨーロッパの都市と結ばれています。

車

マドリードとは、南高速道、高速道A-4で結ばれています。また、アンダルシア州のその他の都市、スペインの他の地域とも高速道でつながっています。

▼ サンタ・フスタ駅



セビージャ市内の移動

地下鉄

セビージャの地下鉄は、首都圏エリア（アルハラフェ）と中心エリア（プエルタ・ヘレス）を結ぶ路線が通っています。

- ① 詳細情報は以下をご覧ください：
www.metro-sevilla.es

バス

ラッシュの時間帯を避けるのがおすすめです。一回乗車券は、乗車時に買うことができます。観光パスは、1日から3日間の期間で、ご希望の回数を選んで乗車することができます。

近郊列車

近くの目的地や場所を訪れるのには、近郊線が便利です。セビージャ近郊の街とセビージャを結ぶ2種類の近郊線が走っています。

自転車

セビージャは恵まれた天候、コンパクトで坂道のない地形という条件がそろった、自転車に乗るのに最適な街です。また、車道から守られた自転車専用の通行路が多くの場所に設けられています。登録することで、レンタサイクル(SEVICi)を短期間利用することもできます。



▲ セビージャ

その他

セビージャでは、時間制限や指定駐車場のない、1分あたりのレートで借りることのできる電気バイクレンタルサービスを始めました。環境にやさしく、渋滞とも無縁で、目的地へのスピーディーな移動ができます。

- ① 詳細情報は以下をご覧ください：
www.moving.com

街の観光を快適に行うことのできる観光バスもあります。また、タクシーは車体が白く、ドアに黄色の斜めのラインが入っているので すぐに見分けがつきます。




詳細情報は

セビージャ観光案内所
 Paseo Marqués de Contadero, s/n
 41001 Sevilla
www.visitasevilla.es
visitasevilla@visitasevilla.es

スペイン政府観光局
 公式サイト
www.spain.info



 @spain

 @spain

 Spain.info

 /spain